



# 木曽林務課だより 11月

色づいた紅葉が風に舞う頃になってきた王滝村で「森林（もり）の里親」による森林整備体験が行われましたので、その様子を紹介します。

## 「森林（もり）の里親」による森林整備の紹介 ～愛知製鋼(株)のみなさんによる王滝村での森林ボランティア活動の報告～

令和3年10月16日、御岳山が雲間に見え隠れする穏やかな王滝村「おんたけ銀河村キャンプ場」周辺森林で、愛知製鋼株式会社をはじめとする関連グループの皆様による森林整備体験が行われました。

この交流は、キャンプ場周辺の森林整備を進めるため、愛知製鋼(株)と王滝村が平成31年4月に「森林（もり）の里親契約書」を締結して、里親である愛知製鋼(株)の支援により森林整備を進めているものです。

本年は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、「緊急事態宣言」解除後の晩秋に行いました。

### 森林整備と巨大「のこぎり」での丸太切り体験でいい汗かきました。

愛知製鋼(株)の皆様は、早朝に愛知県東海市を出発し、王滝村には暖かくなった10時頃に到着し、開会式と森林に関する学習会の後、キャンプ場周辺の不要となった広葉樹の伐採作業を行いました。



開会式と森林に関する学習会



不要木の伐採作業



家族みんなで丸太切り

昼食後の休憩時間には、恒例の会社から毎回持参をいただく巨大「のこぎり」を使っての丸太切り体験を行い、家族で協力して良い汗をかかれています。

午後は、道路沿いのカラマツの枝打ち作業をしていただき、作業前よりずいぶん美しく整備をしていただきました。9月末までは、外出やイベントの自粛が続いていましたので、久しぶりの屋外での作業を楽しまれたようです。

最後に、アダプトサインをバックに記念撮影をし、来年も王滝村で森林整備体験が行えるように言葉を交わし、良い一日を締めくくりました。



「来年も楽しみです」笑顔で記念撮影。



カラマツ林の枝打ち体験